

平成26年度 事業計画(成果) 公益社団法人 鹿児島県隊友会

1 全般成果概要

平成26年度方針のもと各役員の積極的な活動と、県・支部・会員の一体的な活動により成果を収めた。しかしながら退会者も少なくなく、各支部の特性に応じ更なる日常活動の充実により会勢の拡大と充実が重要と思われる。

2 基本事業・重点事業等の主要成果

(1) 総務・組織の事業総括

ア 会勢の充実・拡大

(ア) 正会員

入会者数105名 退会者数150名
(退会者のうち 逝去者25名)

(イ) 家族会員の増勢

・入会者8名 現在会員数57名
・加入率低調
全支部加入率10%追求

(ウ) 会員の定着率向上

・退会者が多数の現状
・特に入会后1年未満退会者多数
・フォローシステムの設定が必要

イ 組織の改編・強化

(ア) 新支部等の結成促進(新規無し)

鹿屋地区、穎娃地区の結成を支援

ウ 会務運営の効率化

(ア) 定期総会成果 5.25(日)

総会、防衛講話、懇親会の3部構成
総会113名、防衛講話(講師:12普連長)132名、懇親会128名

(イ) IT化の推進

・本部からPC1台を支給受 計PC×3
・県隊友会HP:10月改めてアップ

(2) 市民・防衛・広報の事業総括

ア 防衛意識の高揚

(ア) 定期総会時の防衛講話132名参加

(イ) 安全保障フォーラム(9.23)312名参加

(ウ) 九州防衛局の防衛説明会10名参加

(エ) 鎮西26演習に有志参加

(オ) 「中学校で自衛隊展中止

(戦士:表現不適切)」報道
会長以下防衛協力諸団体会長8名と鹿児島市教委との懇談(12.8)

イ 防災・国民保護施策等に対する協力

(ア) 隊友会自衛情報ネットワークの維持・拡充

・12普連情報提供者22支部916名

(イ) 自治体等の行う総合防災訓練等に参加

・国民保護実働訓練
(11.5)さつま金峰支部
・桜島火山爆発総合防災訓練
(1.9)鹿児島地区協議会
・いちき串木野市総合防災訓練
(11.9)同市支部
・垂水市総合防災訓練
(1.7)同市支部

ウ 地域社会の健全な発展に寄与する協力

(ア) 県内公益目的事業の推進

多数の支部で慰霊碑清掃及び慰霊祭に参加

(イ) 復興支援活動への参加

自衛隊OB登録者896名

(3) 部隊等支援・協力諸団体・親睦

ア 部隊等支援

(ア) 訓練・国際貢献活動・災派等の協力支援

・激励品の贈呈
師団長検閲受閲 12普連、8施大
・激励金の贈呈
1空群のソマリア沖海賊対処活動(出・帰国行事にも参加)

(イ) その他の自衛隊活動支援

・スポーツ大会等活動支援(祝い金の贈呈)
国分駐屯地

(ウ) 富士登山駅伝2連覇

(エ) 銃剣道(能美大会優勝)

(オ) 全自空手大会優勝

(イ) 部隊等との交流の拡充

(ア) 意見交換会の実施

12普連(10月) 鹿地本(4月)

(イ) 川内駐屯地(27年2月)

(ウ) 賛助会員への広報

各駐屯地等設置の「隊友会PRコーナー」に「隊友さつま(新聞)」等を掲載

イ 予備自衛官等の支援

(ア) 記念品等の提供(招集訓練時)

・体力検定・射撃優秀者へ付与

・参加者全員に対する記念タールの配布

(イ) 鹿屋基地での海上要員招集訓練参加者と初の懇談会実施

(ウ) 殉職隊員等の慰霊顕彰・援助

(ア) 殉職者慰霊

・県出身殉職者慰霊祭
9.20県護国神社にて開催

・各基地等追悼式に県会長等参加

(イ) 戦没者慰霊

・主要な戦没者慰霊祭に会長参加

・支部で墓地清掃活動、慰霊祭等に参加

エ 親睦・福祉厚生

(ア) グラウンドゴルフ大会

・過去最大の50個チーム250名参加 隊友会最大行事に定着

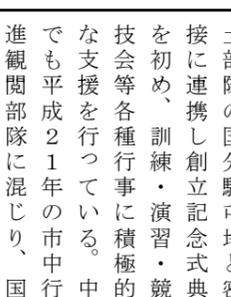


県会長代行 小松久男氏

昭和60年9月国分駐屯地で退官、早や30年の歳月が流れますが、思い出の一端を披露したい。先ず私の退職後の人生設計、退職後直ちに事業

を始める。賃貸住宅を建設する。定年半年前に着工した小松ハイツ(10戸)が9月に完成した。10月に小松不動産を設立、事業が予定通り進捗する一方隊友会にもすぐ入会し国分第4分会長となる。会員約1000人の大世帯に驚いた分会長僅か3年で県会長賞を受賞。当時感激一入だった。

平成元年副支部長、事務局長、平成11年支部会長代行、平成15年本部会長表彰、平成22年隊友会創立50周年本部会長賞受賞、他方昭和62年には、国際ロータリー第2730地区(鹿児島、宮崎)で国分中央ロータリークラブが創設され、会員30人(会社社長、医師等)で発足、初代会長に任命され奉仕の精神を学ぶ。現在名誉会員、更に地域においても昭和61年松木地区公民館副館長、2年後公民館長に選任され地域住民の



初めての隊友会市中車両行進

初めて。隊友会国分支部は、郷土部隊の国分駐屯地と密接に連携し創立記念式典を初め、訓練・演習・競技会等各種行事に積極的な支援を行っている。中でも平成21年の市中行進観閲部隊に混じり、国



常務理事 田原一雄氏

平成6年度隊友会費が、2千円から3千円に増額改定された機会に、支部会費の徴収を止めて隊友会費を県と折半して、支部運営に充てることができてやや好転した。隊友会費は、支部徴収納付された会費の他に、終身会員入会金の本部配分で運営されたことと記憶している。田原常務理事記

光陰矢のごとし

昭和60年9月国分駐屯地で退官、早や30年の歳月が流れますが、思い出の一端を披露したい。先ず私の退職後の人生設計、退職後直ちに事業

を始める。賃貸住宅を建設する。定年半年前に着工した小松ハイツ(10戸)が9月に完成した。10月に小松不動産を設立、事業が予定通り進捗する一方隊友会にもすぐ入会し国分第4分会長となる。会員約1000人の大世帯に驚いた分会長僅か3年で県会長賞を受賞。当時感激一入だった。

平成元年副支部長、事務局長、平成11年支部会長代行、平成15年本部会長表彰、平成22年隊友会創立50周年本部会長賞受賞、他方昭和62年には、国際ロータリー第2730地区(鹿児島、宮崎)で国分中央ロータリークラブが創設され、会員30人(会社社長、医師等)で発足、初代会長に任命され奉仕の精神を学ぶ。現在名誉会員、更に地域においても昭和61年松木地区公民館副館長、2年後公民館長に選任され地域住民の

平成6年度隊友会費が、2千円から3千円に増額改定された機会に、支部会費の徴収を止めて隊友会費を県と折半して、支部運営に充てることができてやや好転した。隊友会費は、支部徴収納付された会費の他に、終身会員入会金の本部配分で運営されたことと記憶している。田原常務理事記



発行 鹿児島県隊友会
発行責任者 川畑初夫
印刷 (株)新生社 鹿児島市七ツ島

隊友会費の思い

昭和56年2月に定年退官し、隊友会終身会員として入会。当時は終身会員と予備自衛官が主体で入会早々から県の理事になり、主として鹿児島

支部の活性化に動き、会員増勢、ひいては資金確保に苦慮。隊友会費2千円、他に支部会費千円を頼りにしていた。県も経費の不足で、離島会員は行事等には対応できないから経費削減案内もしないとの事があり、それでは今後の活性化に支障があるとの思いから、少しでも経費を削減する為、新聞「隊友」を可能な範囲で自ら手配

隊友会在籍30年、我が人生に悔いなし、長きに亘ってご指導を頂いたことに感謝。また、郷土部隊の国分駐屯地と密接に連携し創立記念式典を初め、訓練・演習・競技会等各種行事に積極的な支援を行っている。中でも平成21年の市中行進観閲部隊に混じり、国

帰線

昨年4月、長女が幼い2人の孫を連れて出産のため里帰り、まるで風のような半年間の生活であったが、10月、無事に3人の孫とともに東京に帰って行った。▼長女はかねてより「夫婦で3人以上の子供を育ててくは人口は増えないでしょ」と言っており、「30歳までに子供3人産む」という目標を達成したと誠に頼もしく、また喜ばしい限りである。▼昨年日本では約125万人の方がお亡くなりになったそうだが、年間出生数は100万人の大台割れ寸前とのことである。昭和20年代には、この家庭でも5、6人の子供たちがいたが、昨年の夫婦の平均子供数は、1.96人。▼なかでも、子供が3人以上いる家庭は、10年前に比較し、全体の34.1%から21.6%に減少したとのことである。▼現代の「自分たちさえよければいい」といった世相と相まって「少子高齢化の時代」となり、このままの人口減少が続けば近い将来、国家としての基本制度の破綻が危惧されるところである。▼政府もようやく重い腰を上げ、人口減少対策に乗り出したが、少子化対策は、今や国家存亡の危機に関わる最重要課題として、日本の将来の姿を見据える必要がある。

常務理事 健二郎 記

「隊友新聞」が届く



鹿児島地本での折込み作業の様子

隊友新聞等送付準備作業は、毎月第3又は第4土曜日に鹿児島地本で、久永新聞送付担当の作業指揮の下10数人（鹿児島地協要員5〜7人、県本部役員要員4〜6人）で実施しています。

久永新聞送付担当は、早朝から支援要員全員が揃う10時頃までに2160部の新聞を28個支

部及び個人直送に区分します。次に、新聞折込みの県連絡資料及び広告チラシ等（5部前後）を封入します。逐次到着した支援要員の手伝いを経て新聞折込み封入終わると新聞梱包作業をして各支部への送付準備が終了します。

事後、並行作業をして個人直送会員への送付作業に移行します。個人直送会員への送付準備作業は、約300人の個人直送会員へ、同様に封筒（角形2号）へ封入して、宛名用ラベルを貼り、最後にクロネコシールを貼るといった作業をして終了します。

願わくば、個人直送会多数の鹿屋（陸空38人

員・海86人）支部の皆様及び他地区の皆様による手配り等配布に協力して頂ければ300部の作業も少なくなり送付準備作業も相当軽減します。

ところで、各支部等に届いた後の隊友新聞送付作業は、各支部等の新聞配布担当者（支部長・事務局局長等）が行っています。届いた梱包新聞の包み各分会長等に区分し各分会長及び各理事等が手渡しで会員宅に配達又は郵送されて会員の皆様方の手に届いています。多くの会員が係わることに皆で感謝したいと思います。

また、鹿児島地本の皆様方にも多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます。今後とも皆様方のご協力方宜しくお願い申し上げます。

鹿児島地協事務局局長 後藤 記

思い出随想

防意識の喊声が低いかに感ずる今日この頃、

昭和20年4月初め、進学のため学徒動員から帰郷、毎日の如く、航路南進、日の丸鮮やかな戦

この地は薩摩半島の中央部を縦断する盆地を形成し、良好な航空路と思われ彼等の飛行機が飛来し、空中戦や空襲等が繰り返されてきた。

昭和26年7月7日、鹿屋駐屯地での警衛勤務中、米軍車両の燃料発火を発見、すぐに車両の警笛等で周囲に急報、防火砂等により初期消火に当たり、被害を最小限とした行為が賞賛された。時の駐屯地司令から表彰さ



筆者 菊野 和郎氏

最近部屋の整理をしていたら、警察予備隊時代の賞状が出てきた。余りの懐かしさに老輩の晩節を汚す事に恥じ入りませうが少し紹介をさせて頂きたい。

昭和26年7月7日、鹿屋駐屯地での警衛勤務中、米軍車両の燃料発火を発見、すぐに車両の警笛等で周囲に急報、防火砂等により初期消火に当たり、被害を最小限とした行為が賞賛された。時の駐屯地司令から表彰さ

桜島爆発防災訓練



筆者 伊集院垂水支部長

桜島の大爆発と地震を想定した総合防災訓練が1月9日、垂水市の牛根麓・協和地区で実施され市関係者や消防団・隊友会垂水支部等、13団体が参加しました。

この防災訓練は、大正噴火（1914年）が起きた1月12日前後に垂水市が毎年実施している。情報伝達・避難広報訓練が行われた後、各地区自主防災組織連合会等と協力して避難誘導・簡易担架作成・負傷者搬送訓練等が行われました。

桜島は、鳴動や爆発、噴火が活発化しており、大変危険な状態を近くで

熱戦の第5回囲碁大会

隊友会主催（国分支部担当）による第5回隊友会囲碁大会が、国分シビックセンターで平成27年2月8日23人（管理要員を含む。）が参加して開催されました。

村山副会長の開会挨拶の後、各グループに分かれ試合を開始。試合は、熱戦また熱戦と続き予定時間をオーバーし、主催者側をやきもきさせました。今回は初心者の上達



熱戦が続く囲碁大会の様子

が目を引いた大会でした。休憩時間には、久しぶりに逢い旧交を温める隊友また「他県隊友会との交流試合を計画しては」と具体的な行動の提言もありました。

隼人支部に囲碁同好会が立ち上がる予定です。支部間の交流の輪が広がり、ひいては日々の隊友会活動の分野にも、少しでも関わって頂ければ、会の活性化・魅力化につ

音楽まつり観覧

昨年11月 自衛隊創隊60周年・自衛隊音楽まつり50回記念「平成26年度自衛隊音楽まつり」を観覧する機会がありました。40年ぶりに日本武道館に足を運びました。

オープニングは、儀仗隊整列の中、国旗入場、国歌斉唱後第1章「フロム ジャパン」の開始

陸自北部・東部音楽隊と米海兵隊音楽隊・在日米陸軍音楽隊のドリル演奏で、「故郷」、「上を向いて歩こう」等の曲目に心酔しました。

第2章「ツアーアジア」は、防衛大学校儀仗隊フアンシールドリル、陸・空自中央音楽隊、海自東京音楽隊の糸乱れ華麗

なドリル演奏と海自東京音楽隊の歌姫「三宅三曹」始め陸自・空自の歌姫の歌唱力には拍手・喝采でした。

第3章「ツアーワールド」は、陸自各方面音楽隊、豪陸軍・在日米陸軍・フィリピン軍の各音楽隊及び米海兵隊音楽隊で曲目は、「海をゆく」、「空の精鋭」等の力強い演奏でした。

第4章は、太鼓の競演であり北は旭川北鎮太鼓南は沖縄エイサー隊など



フィナーレの出演者全員による演奏

- ◆ 国分支部 上野 清治 勇 武志
- ◆ 鹿児島地協 永坂 砂男 久木田 親則
- ◆ 始良支部 迫田 謙一
- ◆ 県本部直轄 神田 富広
- ◆ 隼人支部 諏訪原 信夫

グラウンド・ゴルフ

平成15年、当時の県会長の中原さんから「総会に参加する人は役員等を中心に何時の顔ぶれも決まった方が多いが、家族等を含めてもつと多くの会員が参加出来るような行事はないだろうか」と持ち掛けられ、「そう云えば今、全国的にも県内でもグラウンド・ゴルフ（以下GG）と云うのが流行っているそうですよ」と返事しました。

ところが、「それでは是非1度だけでもいいからやつてみてくれんか」と云うのが事の発端です。

そこで先ずGGとはどんな競技だろうか、既



鹿児島地協 岩切康 氏

平成15年、当時の県会長の中原さんから「総会に参加する人は役員等を中心に何時の顔ぶれも決まった方が多いが、家族等を含めてもつと多くの会員が参加出来るような行事はないだろうか」と持ち掛けられ、「そう云えば今、全国的にも県内でもグラウンド・ゴルフ（以下GG）と云うのが流行っているそうですよ」と返事しました。

ところが、「それでは是非1度だけでもいいからやつてみてくれんか」と云うのが事の発端です。

そこで先ずGGとはどんな競技だろうか、既

陸自11組と空自2組の自衛太鼓演奏は館内が地響きするようで圧巻でした。

ファイナーレは、出演者全員による演奏と「花は咲く」の歌唱で賑やかさと厳肅さが相極まり胸に込み上げるものがありました。

最後の部隊紹介では、戦闘服姿で楽器や大小の道具等を出し入れする等裏方の作業に徹していた演技支援隊の紹介があり特に盛大な拍手が送られました。

今回は先輩のご配慮により、招待席からの観覧で出演者を間近に見ることが出来る最高に感激し

計の迅速化を考えて川畑さん（現県会長）の協力を得てPCを導入した事も思い出の一つです。

以前も本紙に載せた記憶がありますが、私はゴルフも楽しんでいますが費用、技術、時間等の面から誰にでもお勧めは出来ません。それに比べてGGは老若男女、年齢を問わず生涯を通して軽易に愉しめ、また地域との交流を含めて最適なゲームと推奨するものです。

この様なGG大会とか隊悠会（ゴルフ同好会）は、インフォーマルな活動として会員の親睦・融和・団結を奨励隊友会の活性化にも寄与するものだと思います。正直言つて、1回だけと思つたのに、こんなに継続して年々盛んになるとは思いもよらない事です。今は市や県の大会で選手の一人としてゲームを愉しんでいます。

鹿児島地区協議会 岩切 康 記

謹んでご冥福を

支部紹介

私の所属する瀬戸内支部は、奄美大島本島南部に位置し、海自奄美分遣隊基地があります。

町の集落数は56、人口は1万人弱です。また加計呂麻島、請島、与路島、と離島を抱えています。私は、その中の加計



栄瀬戸内支部長

何もないような島、時間が止まっているような島、ノンビリした島！？

昨年2000人の陸自隊員の駐屯が決定し、平成30年には配置完了の予定です。

会員は31人、うち4人は特別会員です。活動としては、新年会、総会、慰霊塔清掃、慰霊祭への参加、みなと祭への参加、入隊予定者壮行会への参加、訓練部隊の訓練終了時の慰労会への参加、県銃剣道大会への参加等実

呂麻島に住んでいます。コラルブルーの海、蒼い空

宇都議員の後援会 発足 県隊友政治連盟伊佐支部

昨年のお盆過ぎに、支部の特別会員である池畑憲一県議会議長から『宇都隆史議員を応援する会を立ち上げよう』という話が隊友会と自衛隊父兄会にありました。

県隊友政治連盟伊佐支部は、平成22年の参議院選挙の際、宇都議員を応援した経緯もあり、8月の支部定例会において「立ち上げ」を全会一致で決めました。

伊佐市後援会の事業第一号として、自民党伊佐



宇都参議院議員の講演会の状況

支部との共催のかたちで参議院議員『宇都隆史』先生の防衛講話を10月12日(日)に伊佐市内のホテルで開催しました。当日は、超大型台風19号が接近中で大荒れの天候でしたが、池畑県議会議長をはじめ隈元市長、市議、隊友会員、自衛隊父兄会員、一般参加者等150人を超える聴衆者が、演題「日本の防衛と集団的自衛権とは」に熱心に聞き入り大盛況であったと自負しております。講演終了後は「難しそうな演題であったが、例題を取り入れ、分かりやすい言葉で話されたので聞き入ってしまった1時間余の講演が短く感じた」との感想があちこちで聞かれました。

4年前の参議院選挙では、無名に等しい宇都議員は自民党比例代表12

行しているところですが、今後の事ですが、有償ボランティアを導入すべきと思います。今話題の都城支部の活動を見習いこれを鹿児島でも普及していく事です。国も地方をどう創生していくかに取り組んでいこうとしている様に見えます。

防災はもとより、健康高齢者支援、軽作業等、要支援者の日常手助け出来る事に挑戦出来る隊友会組織にならないものか考えております。

瀬戸内支部長 栄利夫 記



隊友会国分支部の堂々の行進

建国記念の式典に参加 国分支部

2月11日、建国記念の日祝賀式典が霧島市国分ビッグセンターで開催され、国分支部(支部長、宮ノ原伸)は、60数人が参加しました。

12普通音楽部を先頭に国旗、霧島市旗、隊友会旗、そして支部の幟旗をそれぞれ会員が持つて威風堂々と市中行進をしました。市中行進の後、多目的ホールに移動して祝賀式典、記念講演がありました。

霧島市で開催されたことは誠に意義深いものが

あります。記念講演は、天孫降臨と日本

人生で一番大切なことは、健康だとつくづく感じるこの頃です。

「趣味」とは何であるかを辞典で調べてみたら①感興を誘う状態、おもむき、②専門家としてではなく、楽しみとしてする事柄、等と書いてありました。

私は、趣味として若い頃からテニスと囲碁を約60年やっております。

趣味で長生き

今右足の膝を痛めてテニスは中止中です。が、囲碁の方は週1〜2回ほど囲碁仲間と楽しく打っております。

碁を打っている間は、総ての事を忘れて没頭することが出来ます。碁の場合「親の死に目にも会えない」という言葉があり、碁に熱中するあまりの弊害を言ったものだと思います。

また碁は、頭を使うので長生きをすれば楽しいこととたくさんあると思います。皆さん、意識して趣味をつくり長生きを楽しんでほしいと思います。

入来支部長 西親晴 記

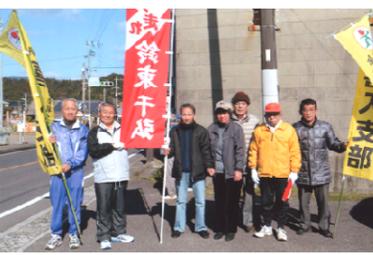


圍碁大会に参加中の筆者(中央)

県下一周駅伝地元選手を応援喜入支部

隊友会喜入支部は、2月14日(土)、「県下一周郡市対抗駅伝」を、喜入町前之浜駅前において堀支部長以下6名で応援した。

これは、今年度当初の総会で、3つの公益事業



少数精鋭の喜入支部応援団

・ボランティア活動(残り2つは、戦没者慰霊碑清掃及びコスモス祭り支援)を実施しようと決議した中の一つであり、初めての応援であった。特に前之浜駅前を応援場所に選定したのは、喜入前之浜町出身の国分駐屯地12普通連所属、鈴東千弘選手が出走する為だ。

当日は、隊友会の幟旗を2本立て、大声援をもつて本人の力走を後押ししようという意気込んでいたそんな中、鈴東選手のご両親が自前の幟旗を持って応援に駆けつけ、我々と一緒に応援すること

で脳の回転を良くして認知症予防にも良いと言われ、更にはストレッチ解消にも最適だと言われている。あま

り、碁に熱中するあまりの弊害を言ったものだと思います。

また碁は、頭を使うので長生きをすれば楽しいこととたくさんあると思います。皆さん、意識して趣味をつくり長生きを楽しんでほしいと思います。

入来支部長 西親晴 記

会員紹介 南さつま支部



竹ノ内南さつま支部長

山里的南さつま支部長竹ノ内氏は、神や生姜等の生産者であり、おいどん市場等への契約農産品等の常連出荷者だ。

人が集まる所では、いつでも人前での話しを求められる。とある結婚式では、急遽「万歳三唱」を求められた。話のネタを思案中、新郎新婦の花を紙吹雪の最中に、桜島の降灰有り。これはチャンスと笑いのネタに「桜

島も一緒に灰吹雪で祝福を手伝います。」との言葉に、参加者からクスクス笑いが起こる中、高らかな万歳三唱が桜島に響き渡る。

この気さくな人柄、焼酎が入ると更に口は滑らかに。山里的の笑いを誘う。

いつまでも笑いの人気者で、キバイヤンセ掛上怒 記

〈業務内容〉

- ◆ 叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆ 拝謁上京時のご案内
- ◆ 叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆ 叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話：099-218-4081
HP：http://www.jokun-iino.jp

防衛省団体扱い自動車保険(指定店)

この団体扱いは一般契約に比べて保険料が

なんと19%割安です

*初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。

●詳しい事は………

連絡先：099-229-4103
FAX：099-229-5176

〔引受保険会社〕
損害保険ジャパン 代理店 ASJ鹿児島
※中古車販売及び車検も承ります。

安田 勇康 (隊友会員)

自衛隊シリーズ6 下甌島分屯基地 の紹介「第9警戒隊」

下甌島分屯基地は、薩摩半島西方約50kmの下甌島の中央部山岳地域に位置しており、第9警戒隊が空の監視等を行うレーダーサイトです。

当分屯基地は、昭和28年7月に米空軍のレーダー基地として建設され、翌昭和29年11月運用が開始され、昭和30年には航空自衛隊の隊員16名が下甌島に展開し、昭和33年航空自衛隊が第1号レーダーサイトとして正式に移管を受けました。



西野第9警戒隊長

先述の移管同様、奇しくも航空自衛隊第1号であることから、魁部隊の面目躍如たるものがあります。(が当分屯基地において運用開始され、東シ

ナ海における警戒監視及び弾道ミサイル対処の要として極めて重要な役割を果たしています。

昨今の国際社会では、サイバー攻撃、大量破壊兵器の拡散、無差別テロや統制機構の脆弱化等の問題が顕在化しており、また我が国周辺においては、軍事力の近代化の継続に加えて、ミサイル発射事案や近隣海空域での活動が活発化する等一層厳しさを増した安全保障環境にあります。

我々下甌島分屯基地は如何なる情勢下にあつても、最前線の部隊で国防に任ずる者として、その重責を自覚し、日々精進を怠らず、魁部隊の矜持を保ち、隊員一同、誠実に任務に邁進していく所存です。今後も一層の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



基地開設当時のレーダー ⇒ ドームに覆われたレーダー ⇒ 現在のカメラレーダー

【60周年記念行事】
27・8・30(日)
下甌島分屯基地
西野第9警戒隊長 記

県下一周駅伝支援 国分駐業務隊 大山曹長

鹿児島県下一周郡市対抗駅伝大会は、昭和29年に始まった歴史と伝統ある大会で、沿道で応援する人も多く、県民に親しまれています。

今年も、第62回大会として2月14日、18日まで開催され、私は、指宿チームのコーチとして今年で連続5回目の参加になりました。

(選手で過去9回出場)引退後は、協力員という形で携わり大会等での選手の配置・介助・送迎等を行っていました。



国分駐業務隊 大山曹長

このような、大会の裏方として参加できるのも上司等の理解や家族の協力があるからだと思います。改めて感謝しているところでもあります。

最後になりましたが、駅伝で学んだことが沢山あります。中でもチームの絆の重さです。選手、スタッフ全員が同じ目標に向かい、気持ちを高めて一致団結して取り組まないと良い結果が出てこないと思います。

自衛隊勤務の感

私は現在、鹿屋航空基地において広報室で勤務しており、主に基地見学、基地取材対応等の渉外広報業務に従事しており、今年度の11月に定年退職を控えております。

思い起こせば約35年前(昭和55年)に海自に入隊し、航空機整備員として主に鹿屋、沖繩基地において約31年間勤務



第1航空群 森勝志氏

務した後、福岡地本福岡援護センターにおいて退職自衛官の就職支援業務に2年間従事してまいりました。

初めてだらけの経験(仕事、勤務場所、単身赴任)に加え、誰一人として私を知らず、私も誰も知らない、緑の制服一色の陸自福岡駐屯地で勤務し、貴重な経験をさせていただきました。特に、スーツ姿での企業訪問(退職自衛官の売り込み営業)は人生勉強となりました。一般企業の自衛官を見る目は、規律正しい信頼できる、挨拶ができ

る等の良い印象のある反面、言われたことしかやらない、という話をよく聞きました。職業病?

私自身も定年退職後は一般企業に就職し働くつもりですが、この貴重な経験を生かし頑張りたいと考えています。

後輩隊員には、自分の職種を極めるとともに職種の違い共通配置において1回は勤務することを勧めます。理由は、視野(忍耐力、協調性)を広げる好機となるからです。昨今の自衛隊が、訓練する部隊から実働の部隊へと変化している中、体面に気を付け目標を持って頑張られることを心から祈っております。長い間、お世話になった先輩

1空群司令部 森勝志記

予備自衛官 招集訓練

平成26年度の予備自衛官招集訓練は、国分は5月から、川内は7月からそれぞれ開始され、両駐屯地で年間延べ9回実施されました。

また、県内の訓練に加え中央訓練、方面訓練、方面衛生訓練が実施され合計約五百人以上の予備自衛官が訓練に参加しました。この間予備自衛官の積極的な訓練参加を得

後輩に感謝を申し上げるとともに退官後は、微力ながら皆様方の活躍を心からお祈りしております。

親父の輝き

南薩の三勇士



長老 坂口鉄夫 親父

砂丘特区に農地を確保、農耕車倉庫で匠の技を生かし、セカンドハウス並み家を建築、砂丘ラツキョとニンニク等を栽培、周域におすそ分けし、生き甲斐を求めている。



中老 西村輝夫 親父(左)

また、古武道の継承と武道の型・技の伝授に生き甲斐を求めている。



初老 宇田四郎 親父(右)

隊友活動の中で、自衛隊父兄会長の務め、子弟の成長を楽しみ、多趣味で写真の腕前プロ級の、また山男を自認、生き甲斐を求めている。

大湊酒造株式会社

〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
TEL 0994-44-2190 FAX 0994-40-0950

常熱 蒼々 黒麹 一番 大海

2012 かがしま新特産品コンクール 奨励賞受賞

火山灰白土(吉田シラス) 洗顔石鹸

シラスソープ

株式会社日本衛生センター
http://www.nippon-ec.com/

鹿児島県鹿児島市下竜尾町25番22号
☎0120-202-208